

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67 (八幡建設 2F)
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005
E-mail: rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
URL: http://gujohachiman-rc.com/

会 長：三原 慎也
副 会 長：野田 三津雄
幹 事：西村 肇
公共イメージ：松森 薫
会報担当者：田中 義久

2023 年度国際ロータリー会長：ゴードン R. マッキナリー (サウス・ウイーンズ・フェリー ロータリークラブ・スコットランド)

2023 年度国際ロータリーテーマ：CREATE HOPE in the WORLD (世界に希望を生み出そう)

<本日のプログラム>

第 2861 回 令和 6 年 2 月 29 日 第 5 木曜日
外来卓話 郡上警察署 次長 吉川 徹様

<次回の予定>

第 2862 回 令和 6 年 3 月 7 日 第 1 木曜日
長期計画全体会議 前田伊三夫会員

<前回の記録>

第 2859 回 令和 6 年 2 月 15 日 木曜日
ロータリー理解講座 三原 慎也 会長

司 会 進 行	竹内 巧治 副 SAA
点 鐘	三原 慎也 会長
ソ ン グ	それでこそロータリー
来 客 紹 介	長尾 信幸 SAA

郡上青年会議所

2024 年度 理事長：小林 久人様

委員長：日置 築様

事務局長：野々田 紘輝様

・2024 年郡上市長選 公開討論会のお知らせ



出席報告 森下 光 出席担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
37 名	32 名	2 名	34 名	91.9%

ニコBOX 國田 大雄 ニコ BOX 担当責任者

・郡上青年会議所の皆様ご苦勞様です。公開討論会 頑張ってください。本日ロータリー理解講座です。

三原 慎也

・ロータリー理解講座宜しくお願いします。西村 肇
・本日はロータリー理解講座です。宜しくお願いします。

平岩 あゆみ・平岩 憲政・廣瀬 泰輔・細江 洋司

岩出 明喜・岩尾 誠・可児 一彦・河合 修
河合 和也・川嶋 成樹・國田 大雄・前田 伊三夫
松森 薫・水上 成樹・森下 光・村井 裕孝
長尾 信幸・永瀬 和郎・西川 昇・大川 達也
酒井 智義・坂本 仁・霜野 賢一・竹内 巧治
田中 義久・和田 英人・渡邊 剛・徐 飛
山川 直保・山下 友幸

幹事報告 西村 肇 幹事

・地区事務所より 1 月クラブ増強報告書
・四日市東 RC より事務局及び例会会場移転のご案内
・中濃駅伝競走大会事務局より協賛のお礼

<拝受>

米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」287 号

委員会報告

和田 英人 情報担当責任者

・本日の IDM のお知らせ
可児 一彦 親睦委員長
・JC との交流会、新会員歓迎会について

会長の時間 三原 慎也 会長



皆さん、こんにちは。先週のこの時間に新入会員推薦者の名前を発表させていただきました。1 週間経ちまして、異議申し立てが来ておりませんので、推薦者の方はこのままお話を進めて下さい。もっともっと仲間を増やしたいと思いますので、他に推薦者がある方はどんどん出していただきたいと思います。

先日の 2 月 12 日は、立春になって初めての午の

日、初午の日でした。初午は、2月最初の午の日のことです。全国にある稲荷神社の春のお祭りで、2月のことを初午と言うそうです。明治維新前までは旧暦ですので、今年のお正月はこの間の2月10日で、旧暦2月の初午の日は今の3月になるんですが、なぜか今は旧暦ではなく新暦の2月の最初の午の日に参拝する人が多いようです。稲荷神社というと、総本宮が京都の伏見稲荷です。そこにご祭神の宇迦之御霊(うかのみたま)が、伊奈利山に降りた日が、和銅4年(711年)の初午だと言われていて、そこから稲荷神社の方で祀りまして牛とか馬、蚕の祝日とする風習となったそうです。初午というのは稲荷大社から稲荷神社の方に移っていった、初午の日は福参りとも呼ばれ、商売繁盛とか家内安全を願って参拝されます。京都の伏見稲荷神社には、私もだいたい毎年2月の中旬から3月にかけてよく参拝させていただいております。概要を見ますと、京都盆地東山三十六峰の一番南側にあり、下の方には朱色に塗られた本殿があり、本殿を登っていくと千本鳥居が山の中腹までずっと続いています。毎年鳥居を奉納される方があって、次はどこに鳥居を並べるのかなと思いつつ見ております。今、ドラマで平安時代の物語をやっておりますが、清少納言が枕草紙の中に伏見稲荷にお参りに行くという文章を書いていますし、蜻蛉日記とか古今和歌集にも伏見稲荷にお参りに行くということが書いてありますので、平安時代から伏見稲荷にお参りに行っていたということがわかります。あと、全国に稲荷神社がたくさんありますが、朱色の鳥居と狐がいるのが特徴です。八幡にも左京のところと、町名からきている稲荷神社のところにもお稲荷様がありますし、お城山に登って行く秋葉様のところには、子供稲荷という小さな祠もあって、身近なところにも色々あります。それから、よく日本三大〇〇というのがある、郡上八幡の郡上おどりも日本三大盆踊りの一つに数えられておりますが、日本三大稲荷ということで調べてみたら、ちょっと面白いことが書いてありました。伏見稲荷、その後よく言われるのが豊川にある豊川稲荷、この二つが三大稲荷の一と二になるんですけど、三番目というのがこれといって決まっていないような形になっていて、候補としては茨城にある笠間稲荷神社とか、佐賀にある祐徳稲荷神社なんかがその三番目を争っているみたいです。その本家にあたる伏見稲荷大社は、実際の二社は諸説ありますので、三大稲荷のあと二つはどこかということは特定できないということ、を、公式に言われているみたいです。その地方によって、その地方の皆さんが三大のうちの三つ目だと言われてるようですが、岐阜で有名な千代保稲荷神社は、自社が日本三大稲荷であるということを正式に否定しているそうです。理由はちょっと分かりませんが、うちは三大の中には入っていないということを表明しているということでした。

ロータリー理解講座 三原慎也会長

引き続き、ロータリー理解講座ということでやらせていただきます。今日は野田三津雄君の講座になっておりましたが、仕事の都合がつかないということで、資料を預かりましたので代わりに読ませていただきます。ロータリーについて知っている方もいらっしゃると思いますが、もう一度復習ということで聴いていただきたいと思います。

・ロータリーの歴史

シカゴの弁護士ポール・ハリスが、様々な分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培うことのできる場として、1905年2月23日に世界初のRC(シカゴRC)設立しました。

日本では1920年(大正9年)に東京RCが設立されました。ロータリーは大きな夢を掲げ、常に高い目標を掲げています。1979年にはフィリピンで600万人の子供にポリオの予防接種を開始し、ポリオウイルスが常在する国は125か国から現在はずか2か国に減っています。

・ロータリーのしくみ

1: ロータリークラブ

ロータリーの中核を成すのは、奉仕、友情、多様性、高潔性、リーダーシップを大切にする会員です。ロータリークラブには、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な変化を生み出したいと願う多世代の人たちが集まっています。世界中のロータリーとローターアクトの会員は、人助けのために行動する仲間や地域の人たちとの繋がりを深めながら、大都市から小さな村に至るまで、それぞれの地域社会の変化をもたらしています。

2: 国際ロータリー

ロータリーは、クラブでの草の根活動に加え、世界的なプログラムを行っています。

ロータリーの活動

- ・**平和の推進**—今日、紛争、暴力、人権侵害によって家を追われた人の数は7000万人。その半数が子供です。このような状況を私たちは絶対に受け入れません。ロータリーは異文化交流を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて平和な世界づくりを促進しています。
- ・**疾病との闘い**—誰にとっても「健康であること」は何よりも大切。でも、基本医療を受けられない人は世界で4億人と言われています。病気の蔓延や医療不足に悩む地域に、仮設クリニックや献血センター、研修施設を作ったり、医師と患者と政府が協力できるインフラを設計するなど、世界中のロータリー会員は人々がより良い医療を利用できるよう支援しています。
- ・**水と衛生**—安全な水と衛生設備の利用は、全ての人が持つべき権利。汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子供たちは、水汲みなどの労働によって学校に通えず、辛い境遇を強いられています。そこで、活動としては井戸を掘るだけでなく、安全な水と衛

生設備を提供したうえで、衛生や伝染病予防に関する教育も行うことで、生活を改善し、子供たちの通学率を高めています。

・**母子の健康**—毎年、5歳未満で命を落とす子供は、世界で約590万人。その原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりです。全ての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子供がすくすくと成長できるよう、教育、予防接種、出産キット、移動クリニックなど支援しています。

・**教育の支援**—読み書きのできない15歳以上の人の数は、世界に約7億7500万人。これは、全世界の成人の17%にあたります。しかも、学校に通っていない子供は世界に6700万人といわれています。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援しています。

・**地域経済の発展**—雇用されているにも関わらず、1日わずか1ドル90セント(約220円)で暮らしている人の数は、世界で約8億人。ロータリーは貧困問題に持続可能な解決策をもたらしています。小口融資や農業の促進などがあります。

・**環境の保護**—ロータリーは、天然資源の保全と保護を促進し、環境の持続性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援します。補助金やその他のリソースを提供し、地域特有のソリューションと革新を奨励しながら、気候変動と環境破壊の原因及びその影響の削減に取り組みます。

3: ロータリー財団

ロータリー財団はご寄付を世界各地での奉仕活動に役立っています。100年以上も前に創立されて以来、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供しています。財団の使命は、会員が人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困を無くすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

寄付が世界にもたらす影響

60セントで一人の子供をポリオから守ることができる。50ドルで人々を守る安全な水を提供することができる。500ドルでいじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ、子供たちに安全な環境を作ることができる。

・多様性(DIVERSITY)

年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会経済的地位、文化、経験、アイデンティティを持つ人がいること。

・公平さ(EQUITY)

参加者が快適かつ生産的な体験をできるよう、様々なレベルの支援、機会、リソースを提供する方法について、慎重に検討すること。

・インクルージョン(INCLUSION)

全ての人が歓迎され、尊重され、大切にされる経験を創造すること。

・地域密着の活動

人と人とのネットワークを生かして、地域に真のニーズを見極め、課題に取り組んでいる。

・多角的なアプローチ

様々な職業やスキルを持つ人たちがアイデアを寄せ合い、世界や地域が抱える問題に対する独自の解決策を見出している。

・倫理を大切に

責任を持って粘り強く活動し、その場限りではなく、持続可能な成果をもたらすことを目指している。

・ローカルとグローバルで変化をもたらす

ロータリークラブは世界のほぼ全ての地域に存在し、それぞれが独自の活動を行っています。

・ロータリーのプログラム

平和フェローシップ、地域社会共同隊、青少年指導者養成プログラム、青少年交換、新世代、補助金、奨学金。ロータリーとして今一番行っているのが、ポリオの撲滅活動です。

・ポリオとは

ポリオは、主に5歳未満の子供がかかる可能性があり、身体麻痺や時には死に至ることもある感染疾患です。ウイルスは典型的に汚染された水を介し、人から人に移り、神経を攻撃します。日本では「小児まひ」と呼ばれることもあります。

・ポリオの現状

1988年以降、全世界のポリオの症例は99.9%減少しています。現在もポリオが常在する国は、アフガニスタンとパキスタンの2か国のみとなっています。

・ポリオに対してのロータリーの目標

ロータリーは、過去35年以上にわたりポリオ根絶活動を行い、ポリオを世界から無くすという目標は今、達成まであと少しのところまで来ています。

これまでに21億ドル以上と無数のボランティア時間をこの活動に捧げて、122か国の30億人近い子供をポリオから守ってきました。根絶活動を今やめてしまうと、10年間の間に、毎年ポリオを発症する子供が20万人になると予測されています。

・一人の子供をポリオから完全に守るための平均費用…3ドル

・2017年に39か国で予防接種を受けた子供の総数 4億3000万人

・世界的なポリオの監視にかかる費用…1億ドル

簡単なロータリーの歴史と、国際ロータリーが今一生懸命取り組んでいるポリオの撲滅活動について発表させていただきました。